



マクロ経済学A

第2回 マクロ経済学における主要概念

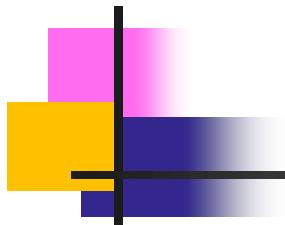


この授業の内容

- ① マクロ経済学の市場
- ② 経済主体間の関わり
- ③ 経済変数



① マクロ経済学の市場



市場とは

市場

売り手と買い手が取引しあっているところ

「いちば」 売買が行われている地理的な場所

「しじょう」 売り手と買い手の集まり・ネットワークを示す
抽象的な場



マクロ経済学の市場

財市場

財やサービスを売買する市場

金融市場

金融商品を取引する市場

労働市場

労働者と企業が労働という生産要素を取引する市場



② 経済主体間の関わり



経済主体と市場の関わり

家計

労働市場にて労働所得を、金融市場にて利子・配当所得を得て、財市場で消費を行う

貯蓄は金融市場にて銀行に預けられたり、株式や債券の購入に充てられる

企業

金融市場で資金を調達し、労働市場で労働を、財市場で資本や中間投入財を調達し、生産活動を行う

生産されたものは財市場で販売し、売り上げを得る



経済主体と市場の関わり

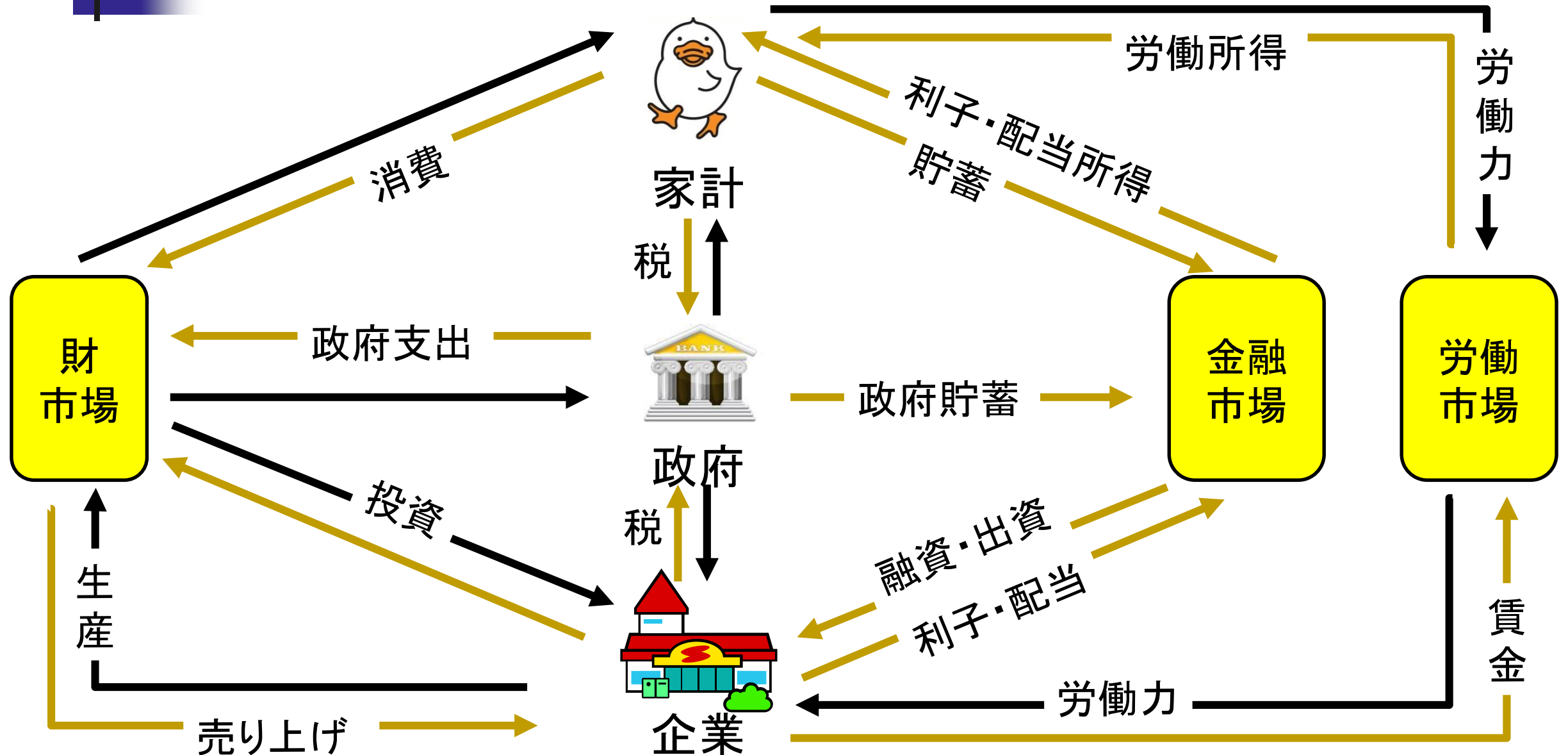
政府・中央銀行

家計や企業から税を徴収し、財市場にて政府支出を行い公共サービスを提供する

政府貯蓄がある場合は金融市場にて運用する

税収が足りない時は金融市場にて債券を発行する

経済主体と市場の関わり





③ 經濟變數



経済変数

GDP：国の1年間の総生産額を示す

物価指数・物価上昇率：物価の水準やその上昇率を示す

成長率：経済の規模の拡大の程度を示す

消費：家計による消費のための総支出額

民間設備投資：企業部門による投資支出額

政府支出：政府の支出規模（政府消費と公共投資が含まれる）



経済変数

輸出：海外への財の送り出し

輸入：海外からの財の受入

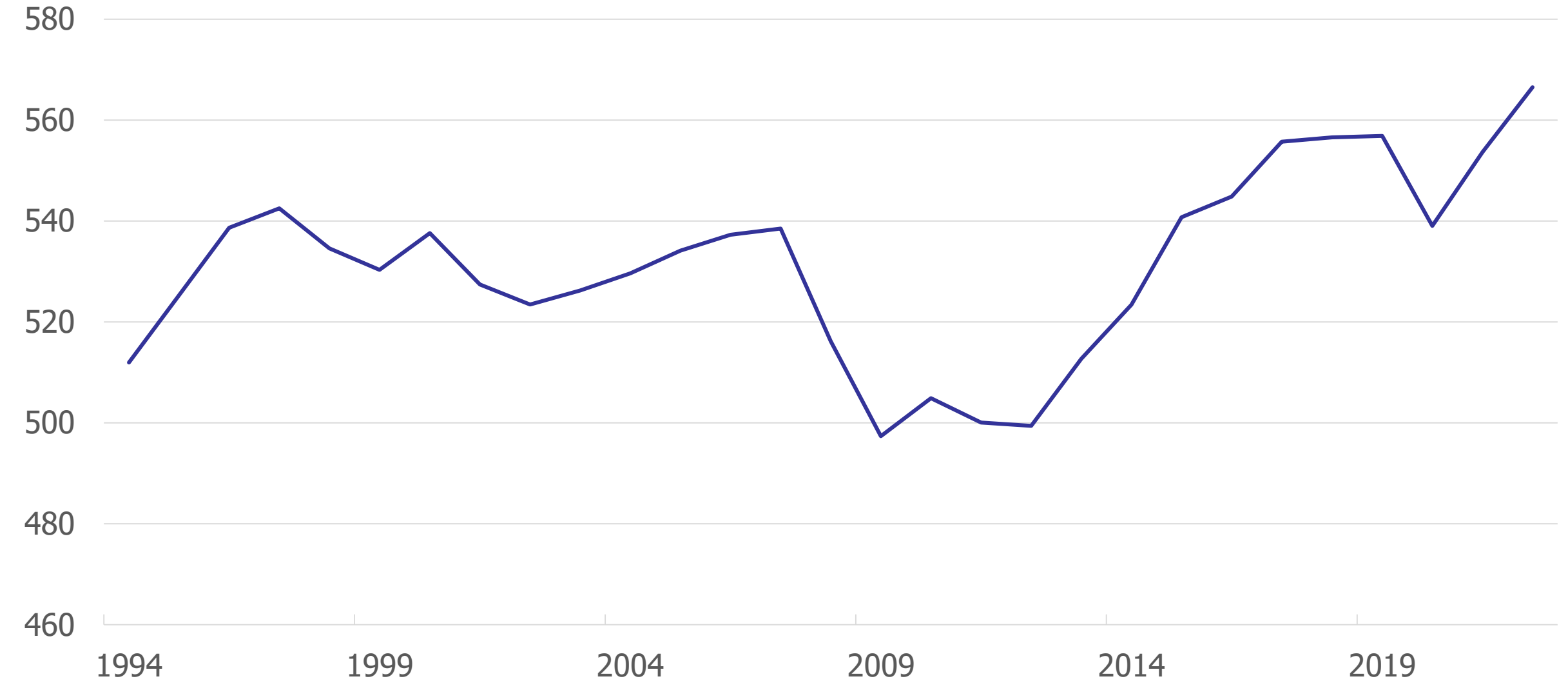
貿易収支・経常収支：海外との財やサービスのやりとりの収支

利子率(金利)：金融資産の収益や貸し借りの金利を表す指標

失業率：雇用の状況を示す指標

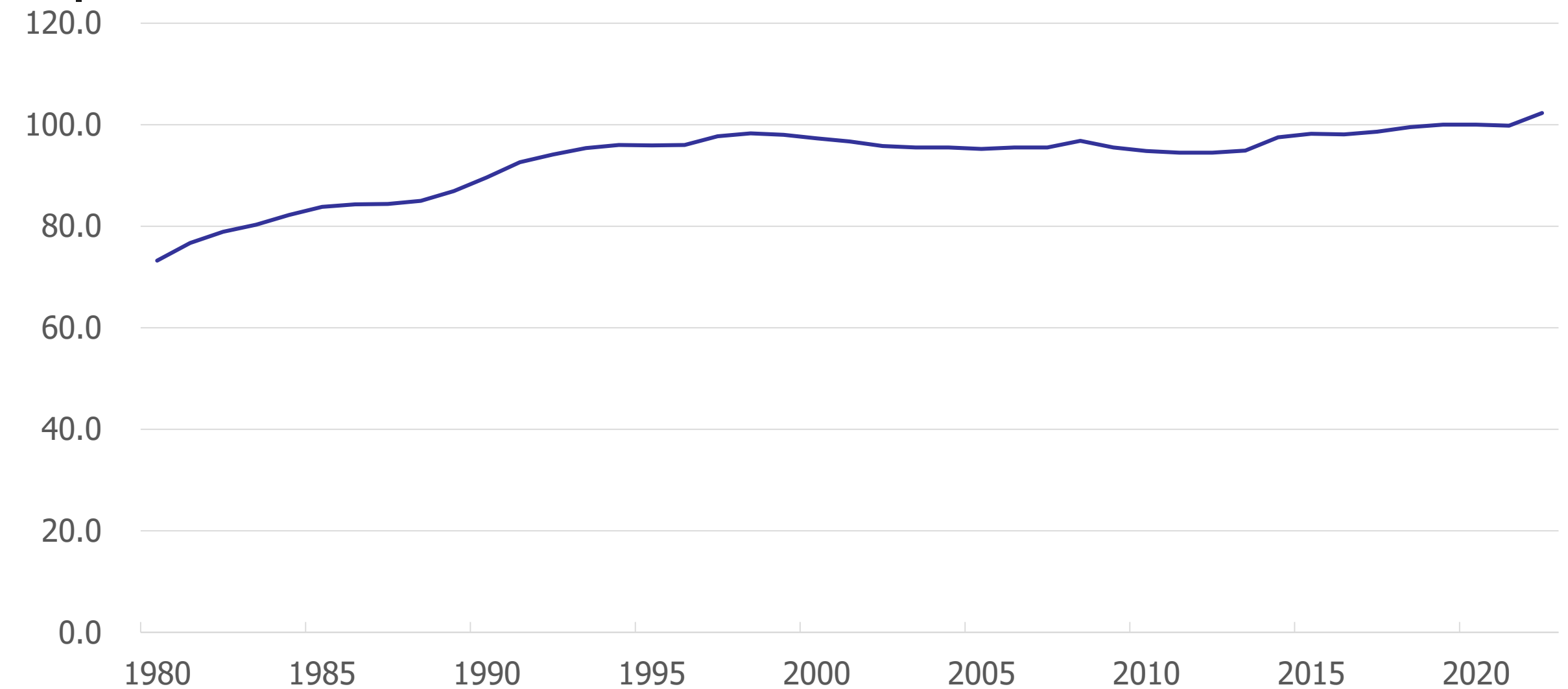
マネーストック(貨幣量)：金融市場の状況を示す重要な指標

日本のGDPの推移



出典:内閣府「国民経済計算(GDP統計)」

消費者物価指数の推移





経済変数を見るときの注意点

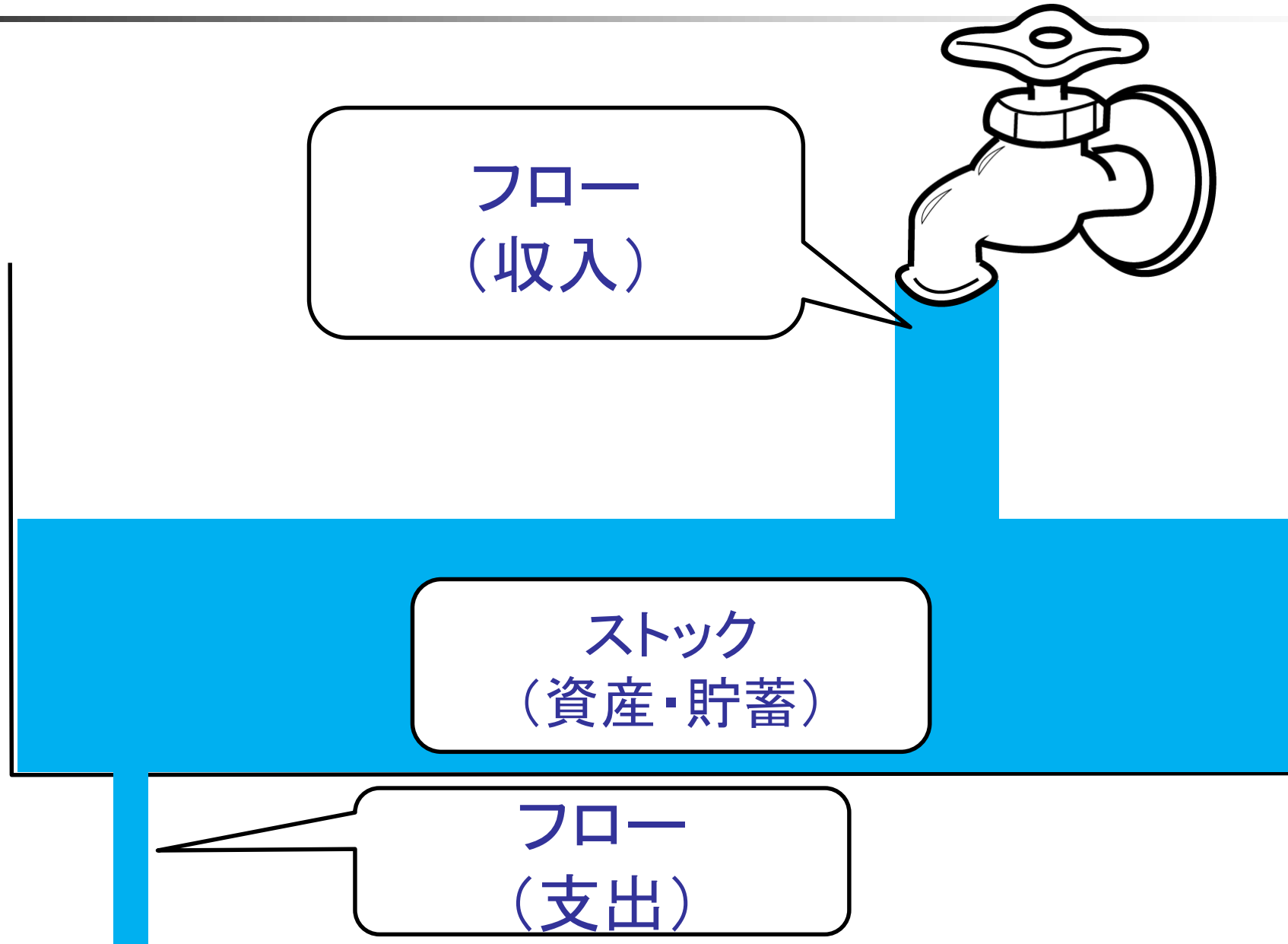
フローとストック

- ▶ フロー：ある一定期間の間に観測する数量を示したもの
- ▶ ストック：過去から今まで累積してきた数量を示したもの

変化量・変化率

- ▶ 変化量：変数がその年にどのくらい変化したかを示したもの
- ▶ 変化率：変化の程度

フローとストック





この授業で学んだこと

マクロ経済学の市場

財市場、金融市場、労働市場

経済主体間の関わり

経済変数

フローとストック、変化量と変化率